

著者略歴
下地武義 (しもじ たけよし)
1962年3月 那覇高等学校卒業
1969年3月 順天堂大学医学部卒業。
1970年ECFMG取得、翌年順天堂大学脳神経外科入局。
1973-79年Northwestern University Medical School Neurosurgeryレジデントとして臨床研究研修(特に小児脳神経外科を研修)。
1978年日本脳神経外科学会専門医、翌年に学位取得。帰国後、順天堂大学脳神経外科講師。
1989年沖縄県立南部病院脳神経外科部長。
1993年沖縄県立那覇病院脳神経外科部長、総合診療部長を経て2003年同副院長。2006年沖縄県立南部医療センター・こども医療センター副院長、院長を勤め2009年定年退職。同年天久台病院に勤務、現在に至る。2006-2016年沖縄県立南部医療センター・こども医療センター応援医師。
2003年日本小児脳神経外科学会川淵賞(最優秀論文賞)受賞



ISBN978-4-7745-1832-9
C0047 ¥1400E

定価：本体1400円(税別)
現代書林



発達障害を救う

在野の脳神経外科医が
風に向かって立つ！

この子たちの希望の光を決して消させない

発達障害を救う

在野の脳神経外科医が 風に向かって立つ！

小児脳神経外科医
下地武義



まだまだ多くの研究課題が残されている。
しかし、患児たち、そのご両親の心痛を思うと
待てないというのが、私の正直な気持ちである。
いかなる反論があろうとも、
実践しながら研究を前に進めていく覚悟である。

「はじめに」より



「軽度三角頭蓋手術」により
発達障害の症状は
改善しているという事実

小児脳神経外科医
下地武義



しもじせんせいへ
しもじせんせい が しゅづつをしてくれたおかげで
あたまがいたくなくなって がっこうにもがんばっていきたく
ありがとうございます
もっとたくさんの人をたすけてあげてね

(患児本人からの感謝の手紙より・原文のまま)